

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育内容（環境） 指導法 ナンバリング：2305	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名：小儀伸一 担当形態：単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） ／保育内容演習		
授業の到達目標及びテーマ 1. 子どもと環境のかかわりと成長について理解し、適切な環境設定ができる。 2. 保育環境の具体的なデザインの方法を身につける。 3. 花育や自然の遊具を作成し、その管理や体験を通して、保育に取り入れる方法を身につける。			
授業の概要 子どもは、身近な人々、自然、もの、に関わることで、興味や関心を増幅し新しい発見をしながら成長していく。ここでは、①子どもと環境のかかわりと成長の理解 ②保育環境の具体的なデザインの方法 ③保育者の柔軟で適切な援助のあり方の3点を中心に、保育者として理解しておきたい「環境」について学ぶ。また、「季節感」を意識した花育や自然の遊具を作成し、その管理や体験をおとして繊細な観察能力と優しい心を育成し、保育を取り巻く環境の改善と工夫のできる保育者になれるようにする。			
授業計画 第1回：ガイダンス～幼児教育の基本と保育内容「環境」～ 第2回：幼児期にふさわしい環境と環境構成の実際 第3回：花育と保育・植物の保育効果 第4回：センスオブワンダーの理解①IPをカラーサンドで作成 第5回：センスオブワンダーの理解②植物を利用した作品作り 第6回：センスオブワンダーの理解③アロマセラピーの理解 （自然物で虫よけスプレーの作成） 第7回：自然に親しみ植物に触れる保育の実際① 植物の栽培（計画立案－指導案の作成） 第8回：自然に親しみ植物に触れる保育の実際② 植物の栽培（栽培の実践－模擬保育） 第9回：自然に親しみ植物に触れる保育の実際③ 植物の栽培（実践の振り返りと改善） 第10回：自然に親しみ動物に触れる保育の実際① （小動物との接し方について、映像資料などで学ぶ） 第11回：自然に親しみ動物に触れる保育の実際② （ICTを活用し、観察、記録を行う。） 第12回：自然に親しむ環境体験（屋外での自然観察） 第13回：自然に親しむ環境体験（屋外の生物観察） 第14回：自然に親しむ環境体験（屋外で昔の遊び） 第15回：自然に親しむ環境体験（まとめ） 定期試験：レポート		授業時間外の学習 事前に図書館で花育の理解 植物の保育効果を事前学習 感動や発見を写真で提出 植物の特殊能力を事前学習 アロマの効果について事前学習 植物栽培方法を事前に調べる 保育への取り入れ方を考え、 指導案を作成する 保育園や幼稚園の小動物について 事前学習テーマについての調べ学習 動物の触れ合いの記録を情報機器 を使用しまとめる 屋外体験の準備 屋外体験から学んだことを まとめる 6時間（資料収集と実施計画及び、 授業実施後の子どもの反応など） 2時間（事前に参考文献などをチ ェックしたり授業で行うスピー チの内容の確認及び練習）	
授業の方法 講義と演習・実技（作品の維持管理）を行う。 実際の山羊などに触れたり自然観察、田畑作業、屋外での調理など体験学習する。提出物やレポートにコメントを入れて返却。			
テキスト 『保育実践に生かす保育内容「環境」』上田修著 保育出版社			
参考書・参考資料等 『農と都市近郊の田園暮らし』 必要に応じて図書館で植物図鑑や動物図鑑を調べる。 『幼稚園教育要領（最新版）』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版） 『保育所保育指針』（最新版） FIELD GUIDO 14、15 園芸植物			
学生に対する評価 提出物やレポート（50%）、作品の維持管理、生育状況（30%）参加態度（20%）を総合して評価する。			
履修上の注意 ・持ち帰り作品の実費@2,000円徴収（4回分）予定。 ・生物の維持管理にかかわる積極的な行動と適切な対応を心がけること。 ・実地、屋外での演習では、汚れてもいい服、歩きやすい踵の低い靴。観察用のノート筆記具を持参。 ・模擬授業、発表の場に対し、しっかりと準備して積極的に取り組むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	花育活動
実務経験を活かした教育内容 年6回から10回実施している花育活動（花の園芸講習会、保育園花育活動、大人とこどもの環境体験（お米の生産体験）など）生かした花育活動（プランター・花壇の作成と生育管理、育てた花を使った作品作成）を行う。			